

グラウンドワーク三島アクション図鑑



GW三島のロゴマーク

英国GWのロゴマークが使用できないと知り、独自のものを作成。「みんなで協力身近な環境改善」



第1回の英国GW視察

GW三島設立の翌年5月、英国GWを訪見し、一同目を見張る。プリンスパークで記念植樹。



中郷温水池の逆さ富士

富士山からの湧水は、源兵衛川を下り中郷温水池で太陽熱に温められてから、田園地帯へ注ぐ。



「こん虫館」の看板と！

生き物が大好きな子どもたちはいっぱいいる。手づくり看板を囲み、「こん虫館」前で記念撮影。



湧水が満水の小浜池

源兵衛川の源は、三島市立公園楽楽園の小浜池。かつては、いつもこの風景を楽しめたが...



おかえり！メダカたち！

静岡県立三島南高校の手づくりピオトープでは、リニューアル時にメダカを預かってもらっていた。



記念植樹のクレマチス

ロビン・ヘンショウ夫妻が沢地グローバルガーデンに植樹されたクレマチスは、毎年美しく開花。



地域再生大賞受賞

共同通信社と全国の地方新聞社が創設した賞の第1回目を受賞。川勝平太県知事に報告。



松毛川の河畔

狩野川の一部だった松毛川は、自然の宝庫。河畔林が美しく、後世に引き継ぎたい自然環境。



地球環境大賞受賞

フジサンケイグループ主催のこの賞の中の「環境地域貢献賞」を受賞。感激の記念撮影。



GW全国研修センター開設

GW三島と英国GWの協力関係強化を合意し、英国から講師を招き、開設記念シンポジウム開催。



日英シンポジウムの聴衆

日英のパネリストの発言に聞き入る聴衆。第3回の英国GW視察に参加した人々も発言。



ホテイアオイの除去作業

松毛川に外来種のホテイアオイが密集し始め、水辺を求め飛来する野鳥やトンボに悪影響が。



よみがえった源兵衛川

GW方式とも言える、市民、企業、行政のパートナーシップで、清流がよみがえった貴重な川。



「三島街中カフェ」オープン

街のにぎわい創出を願ってスタート。多くの人々が様々な特技を発揮して、まちづくりに貢献。



高校生ボランティア

静岡県立三島北高等学校の生徒たちは、昔からガーデン作業に参加。運動部が走って来ることも...



松毛川千年の森づくり

韓国から研修に来た高校生や大學生と千年の森づくりで、竹林の伐採や地元の樹木の記念植樹。



満開のソバの花

GW三島の農業再生事業で、農地を耕してソバ畑にし、「三島そば」を製品化して販売まで行う。



昔の機械でソバの脱穀

農業にふれる機会をと、昔の脱穀機で、ソバをきれいにする体験を子どもたちにも指導。



洗心亭・招福亭スタート

高齢者等の要望から、何でも気軽に相談できる洗心亭・招福亭が開かれる。専門家とも連携。



環境出前講座

植物、生き物等、様々な分野の専門家に講師になっていただき、インストラクターもお手伝いで参加。



みどり野ふれあいの園

地域住民が中心になり、周年事業も続けている。10周年記念で富士山が良く見えるアーチ設置。



富士山湧水インストラクター

三島市内にとどまらず、三島の湧水の源である富士山も学び、多くのインストラクターが誕生。



松毛川河畔の整備

竹林が伸び放題で、元々あった巨木にも丈夫な鳥が巻き付き、整備は大変な作業だった。



日英GWシンポジウム

英国GWの環境ビジネスが紹介された。『バイリンガル環境かるた』を体験してもらい盛り上がる。

目 次

ごあいさつ	1
グラウンドワーク三島 名誉会長 緒明 實	
グラウンドワーク三島 理事長 小松 幸子	
グラウンドワーク三島 副理事長 小野 徹	
GW三島 専務理事・事務局長 渡辺 豊博	
広がる実践活動	
松毛川千年の森づくり	2
源兵衛川をフィールドにして	3
GWインターンシップ	
GWインキュベーション	
英国GWをふくむ海外との交流	4
グラウンドワーク三島の実践地	5
未来に向けての新しい取り組み	6
東日本大震災支援活動	7
「三島街中カフェ」、農業再生…	8
目 次	9
GW三島の戦略的アプローチ	10
ご祝辞	14
川勝平太 石川嘉延 豊岡武士 細野豪志	
各界各層や会員からのひとこと	15
10年間のあゆみ（さかのぼり掲載）	29
ボランティアニュース 49号～20号	
GW三島事務局メンバー	201
編集後記 奥付	202
GW三島の受賞の記録	204